

NEWS RELEASE

報道関係者各位

情報解禁日 2024/3/1(金)11:00

山内恵介 初のオーケストラコンサート 東京・大阪にて開催決定！ 奇跡のコラボレーションが今、幕を開ける！



演歌の貴公子として紅白歌合戦 9 年連続出場を果たし、日本歌謡界のトップを走り続ける歌手・山内恵介。2001 年シングル「霧情」でデビュー以来、日本中の演歌ファンを魅了し続けてきた。不惑といわれる 40 歳を迎えても迷うことなく新たなステージに挑む！それが…オーケストラとの共演。オーケストラを従えて演歌の枠を飛び越え、オペラ、シャンソンから J-POP まで、世界中の名曲を歌いこなすボーカリストとして進化する。

演歌ファンにとどまらず、すべての音楽ファンを音の迷宮に誘う魅惑のステージとなる。山内恵介の軌跡と全貌がわかる、2024 年絶対に見逃せない特別企画である。

指揮は横山奏、演奏はパシフィックフィルハーモニア東京(東京公演)、大阪交響楽団(大阪公演)が務める。東京公演は 6 月 13 日(木)、14 日(金)東京芸術劇場コンサートホールにて、大阪公演は 7 月 11 日(木)フェスティバルホールにて開催する。

本リリースのお問い合わせ（宣伝素材、取材など）：キョードーメディアス 03-3407-8105
雲林院 unriin@kyodotokyo.com、小澤 ozawa@kyodotokyo.com、佐藤 medias1@kyodotokyo.com

NEWS RELEASE

コンサートのチケットは、各プレイガイドにて4/13(土)10:00より一般先行販売開始予定。

【東京公演チケット】

キョードー東京チケットオンライン <https://tickets.kyodotokyo.com/ky-orchestra/>

予約・お問い合わせ：キョードー東京 0570-550-799 (平日 11:00~18:00/土日祝 10:00~18:00)

【大阪公演チケット】

お問い合わせ：キョードー大阪HP <https://kyodo-osaka.co.jp/search/detail/8347>

キョードーインフォメーション 0570-200-888 (月~土 11:00~18:00、日・祝休み)

山内恵介 オーケストラコンサート概要

<出演>

山内恵介

指揮：横山奏 管弦楽：パシフィックフィルハーモニア東京(東京公演)/大阪交響楽団(大阪公演)

<東京公演>

2024年6月13日(木) 16:00 開演 (15:00 開場)

2024年6月14日(金) 14:00 開演 (13:00 開場)

東京芸術劇場 コンサートホール(東京・池袋)

チケット料金(全席指定・税込)：S席 11,000円 A席 9,000円

お問い合わせ：キョードー東京 0570-550-799 (平日 11:00~18:00/土日祝 10:00~18:00)

<大阪公演>

2024年7月11日(木)15:00 開演(14:00 開場)

フェスティバルホール(大阪・中之島)

チケット料金(全席指定・税込)：S席 11,000円 A席 9,000円 B席 7,000円 BOX席 13,000円

バルコニーBOX席(ペアシート)22,000円

お問い合わせ：キョードーインフォメーション 0570-200-888 (月~土 11:00~18:00、日・祝休み)

一般発売日(東京・大阪公演共通)：2024年5月11日(土) 10:00

◆主催：キョードー東京/BS-TBS ◆協力：三井エージェンシー

<注意事項>

※未就学児入場不可

※チケットはお一人様1枚必要

※車椅子をご利用のお客様は、各お問い合わせ先までお電話にてご連絡ください。

※原則公演延期・中止の場合を除いてチケット払い戻しはいたしません。

NEWS RELEASE

出演者

歌手：山内恵介



1983年、福岡県生まれ。99年、作曲家の水森英夫にスカウトされ、2000年に上京。01年、シングル「霧情」でデビュー。デビュー15周年となる15年に「NHK 紅白歌合戦」初出場を果たし、以来連続出場中。19年、47都道府県コンサートツアー開催。20年、4月よりデビュー20周年を迎え、11月には日本武道館公演を開催。23年3月「こころ万華鏡」発売。24年2月「紅の蝶」発売。演歌界の貴公子として、広く親しまれている。

指揮：横山奏



©平舘平

1984年札幌市生まれ。北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽コースを卒業後、桐朋学園にて学び、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程を修了。指揮をダグラス・ボストック、尾高忠明、高関健、中村隆夫、黒岩英臣の各氏に師事。打楽器を真貝裕司氏に、声楽を桑野敏明、雨貝尚子の各氏に師事。2017年 WMC Kerkrade 指揮者コンクール第3位。2018年第18回東京国際音楽コンクール第2位&聴衆賞を受賞。これまでに札幌響、仙台フィル、山響、都響、読響、新日本フィル、日本フィル、東京フィル、東京シティフィル、東京佼成ウインド、千葉響、名古屋フィル、京響、大阪フィル、日本センチュリー響、関西フィル、大響、オオサカ・シオン、広響、九響などと共演を重ねている。2015-2017年、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員。2019年 北海道二期会創立55周年記念「レオンガヴァッロ：道化師」を、2021年 田尾下哲演出「バーンスタイン：キャンディード」を指揮し大成功に導いている。

管弦楽：パシフィックフィルハーモニア東京（東京公演）



©Takashi Fujimoto

1990年設立。定期演奏会等の自主公演の他、オペラ、バレエ、音楽鑑賞、レコーディング、テレビ・ラジオ出演など幅広く活動。また2017年からポップス定期演奏会を開催し、アニメ・ゲーム音楽など各界のアーティストと共演を続けている。2018年からは楽団誕生の地である練馬で練馬定期演奏会を開催し、地元根差した活動も行っている。2022年4月には飯森範親が音楽監督に就任し、さらに楽団名を「パシフィックフィルハーモニア東京」へ改称して、更なる飛躍を目指す。

NEWS RELEASE

管弦楽：大阪交響楽団（大阪公演）



1980年「大阪シンフォニカー」として創立。創設者である、永久名誉楽団代表・敷島博子が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を！』を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。

2001年1月に、楽団名を「大阪シンフォニカー交響楽団」に、2010年4月「大阪交響楽団」に改称した。2022年4月、新指揮者体制として、山下一史（常任指揮者）、柴田真郁（ミュージックパートナー）、高橋直史（首席客演指揮者）の3名が就任、さらなる楽団の飛躍が期待されている。

楽団公式ホームページ (<http://sym.jp>)